

## 当院予防医学センターの人間ドック健診を受診された皆様へ

野村病院 予防医学センターでは、以下の臨床研究を行っております。

以下の内容をお読み頂き、ご自身がこの研究の対象者に当たると思われる方で、ご質問がある場合、又はこの研究に「自分の情報を使って欲しくない」という場合は、2022年6月30日までに下記の問い合わせ先までご連絡下さい。2022年7月1日以降、すでに解析を終了している場合には、研究データから受診者様の情報を削除できない場合がありますので、ご相談下さい。

### 【対象となる方】

2018年野村病院予防医学センターで人間ドックを受診された40～74歳の受診者様のうち、2019年人間ドックを2年連続で受診された受診者様

### 【対象となる方の使用する情報】

2018年人間ドック受診時の自記式問診質問票回答内容、2019年人間ドック受診時の自記式問診質問票回答内容と健診結果

### 【研究実施期間】

病院長承認日～2025年3月31日

### 【個人情報の保護について】

この研究で使用するために得られたデータは、個人が特定できる情報を削除し、個人を特定できないようにした上で厳重に管理します。この研究のデータが研究目的以外で使用されることはありません。

### 【研究課題名】

「当センター人間ドック受診者における主観的健康感が生活習慣や検査データに及ぼす影響についての検討」

### 【研究の目的】

40～74歳の受診者様の主観的健康感が生活習慣と健診結果へどのように影響するかを調査します。

### 【研究の背景】

2008年特定健診が導入され、健康寿命延伸を目的に健康寿命と平均寿命の格差を縮小する取り組みが開始されています。生活習慣、ADL、生命予後へ主観的健康感が影響しているとの研究報告がなされています。しかし、多くは高齢者や地域住民に関するものでした。当施設の人間ドック受診者は85%が40～74歳の特定健診年齢の方であり、QOLを維持した生活が送れていることの指標である健康寿命の延伸のためには高齢期以前からの取り組みが重要と考えます。特定健診年齢に特化した主観的健康感に関する研究については多くはありません。特定健診年齢の主観的健康感を調査することで、健康寿命の延伸が期待できます。

【研究担当者】 野村病院予防医学センター保健師 高橋明佳 池田舞

【問い合わせ先】 医療法人財団慈生会 野村病院 予防医学センター

電話：0422-47-8811

受付時間：月～土曜日 8:00～16:00（日・祝祭日を除く）

なお、本研究は当院研究倫理委員会において、2022年3月23日（審査番号 R-13）に承認され実施しています。